

“ちろとん”と書く

JCHO 群馬中央病院

— 研修医ガイド —





koroton

ころとんと前橋のはなし

豚肉料理が名物の群馬県前橋市。「TONTONのまち前橋」のキャラクターとして生まれた「ころとん」は、まん丸の身体と赤いほっぺが特徴で、ころころと太った可愛い仔豚をイメージしたキャラクターです。

耳をぴくぴく動かすことが得意なころとんは今日も前橋の美味しい豚肉料理をPRするため、そして、前橋のイメージアップのため活躍中です！

そのころとんのいる前橋市はスカイツリーから約100km、東京まで2時間ほどの距離にあります。豊かな自然に囲まれながらも県庁所在地であることから都市空間も兼ね備えた住みやすい街でもあります。そして、市民1人当たりの医師数が全国屈指であり病院まで距離が近いランキングでも上位に位置している医療環境の恵まれた都市でもあるのです。



ぐんまって？

本州のほぼ真ん中にある群馬県。夏は熱く、冬はからっ風が吹きつけますが、自然災害の少ない地域です。また粉食文化の発達した群馬ではうどん・やきそば・パスタなどの麺料理をはじめご当地B級グルメの焼きまんじゅうやもんじゃ、他にもすき焼きの食材すべてを群馬県産で揃えることができるバラエティ豊かな食文化が楽しめます。

群馬県人なら誰でも知っている郷土を語る「上毛かるた」。群馬には数多くの温泉があり、主な温泉だけでも草津、伊香保、四万、水上温泉があります。また、夏は尾瀬、冬にはスキーなどアクティビティも充実。世界遺産の富岡製糸もあり知れば知るほどその魅力にとりつかれること間違いなしです！



草津温泉



伊香保温泉



四万温泉



水上温泉



尾瀬



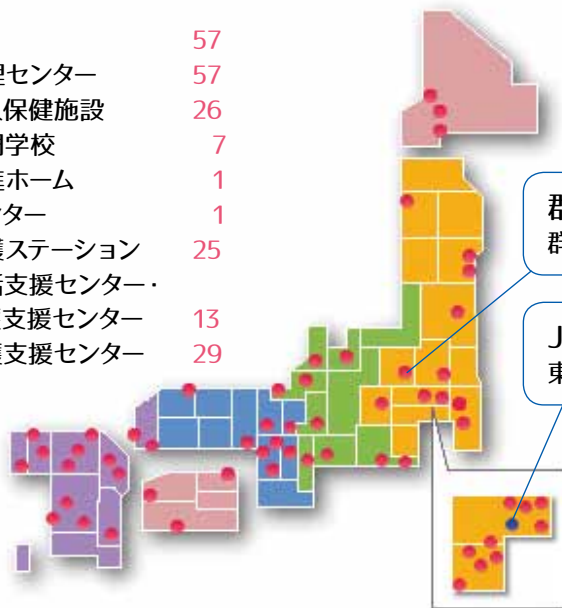
富岡製糸



JCHO (独立行政法人地域医療機能推進機構)

JCHO は地域の住民、行政、関係機関と連携し地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献しています。

- 病院 57
- 健康管理センター 57
- 介護老人保健施設 26
- 看護専門学校 7
- 健康増進ホーム 1
- 研修センター 1
- 訪問看護ステーション 25
- 地域包括支援センター・在宅介護支援センター 13
- 居宅介護支援センター 29



群馬中央病院
群馬県前橋市紅雲町 1-7-13

JCHO 本部
東京都港区高輪 3-22-12

研修協力病院及び研修協力施設

平成 30 年度プログラムより JCHO 東京城東病院が追加になりました。



群馬大学医学部附属病院
(皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科)



独立行政法人地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization
群馬中央病院



JCHO 東京城東病院 (内科・総合内科)



伊藤内科医院 (地域医療研修)



赤城病院 (精神科)



すがの内科医院 (地域医療研修)



ほんま小児科



中村外科医院



ベル小児科クリニック
(地域医療研修)



しのはら小児科



たき医院

各科紹介



内科

(豊富な症例を経験可)

前橋市中心に位置しており、アクセスの良さから他の医療圏からの患者流入も多く、豊富な症例を経験することが出来ます。

内科系疾患は、ほぼカバーしていますので、コモンな内科疾患を幅広く、自分たちでマネジメントできます。

消化器内科

(年間 12,000 件を超える内視鏡検査) 急性腹痛、吐血下血など急性疾患から炎症性腸疾患、肝疾患、消化器がんなどの診療を行っています。

消化器中心に研修を希望する方は内視鏡検査、エコー、生検技術等の習得が可能です。

神経内科

脳卒中の急性期治療、片頭痛、めまい、パーキンソン病、認知症(アルツハイマー病など)、重症筋無力症などに幅広く対応しています。神経内科・神経救急・老人医療・地域医療など幅広く研修を行います。医師の眼からの“気づき”も大変重要です。これらの観点は将来どの領域に進んでも必ず役に立つものです。

産婦人科

(分娩数 657 件、手術数 569 例)

重篤な合併症を有する妊婦さんなどを 24 時間体制で受入れ、小児科と連携し母体、胎児、新生児の集中医療を実施。

●群大関連の中で唯一産科婦人科内視鏡学会認定施設

●県内の総合病院の中で分娩数は最多

●リプロダクションセンター設置

循環器内科

●心臓・下肢血管カテーテル法 274 件

●経皮的冠動脈形成術 170 件

●FFR(冠血流予備量比) 109 件

少人数制なのでカテーテルによる検査や治療を担当する機会が多くその他ペースメーカーや中心静脈確保、胸・腹腔穿刺、心エコー検査等様々な手技を勉強できます。

糖尿病内科

糖尿病・合併症について全般的に理解し、的確な検査・診断・治療が行えるよう、必要な知識や技術を習得します。糖尿病教育入院のほか、緊急性のある糖尿病患者に対しての初期対応、担当患者や術前・後の血糖コントロール、妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠など、受け持ち医として経験していきます。

外科

(消化器外科全領域)

手術数は 569 件(胃がん手術の 65%、大腸がん手術の 52%は腹腔鏡下で実施)

縫合・切開等の基本的な外科手技や中心静脈確保から重症患者の管理まで経験できます。

小児科

(新生児から小児まで)

●専門病床 60 床(NICU 機能 16 床)

●入院患者 1,600 件以上

●紹介患者 1,700 件以上

小児入院は感染症、神経疾患、アレルギー性疾患等多彩で、新生児の人工呼吸管理も多くあります。





整形外科

(膝・脊椎の手術 550 件以上)
手術総数は 986 件
四肢及び脊椎の外傷、変形性疾患など
ダイナミックな手術から細かな作業まで
自分にあう分野があります。専門性
のみならず、一般整形外科疾患の治療
や救急医療にも力を注いでいます。



麻酔科

(できる研修医に仕上げます！)
気道確保、脊髄くも膜下穿刺、静脈ライン確保から呼吸管理、循環管理、疼痛管理、などを豊富に経験できることが特徴です。

- 麻酔科管理手術 1,855 件
- 危機管理能力(知識・技術・判断力)が習得できる



眼科

年間手術数は 300 ~ 350 件前後
手術は主に白内障手術です。また、一般診療として何でも多くの疾患を診断できるように、検査一般、診断、治療(内科的、外科的)を学ぶことができます。また、斜視、弱視治療から未熟児の診察に至るまで小児眼科を学ぶことができます。



地域医療(協力施設)

病診連携協力医のもとでの在宅研修や地域医療の実践を経験します。
2 年次に協力施設のうちの 2 施設にそれぞれ 2 週間実地研修として出向します。



総合内科(城東病院)

JCHO 東京城東病院で研修を行います。
①内科全般の基礎を身につけることと
②スライマリ・ケア領域に必要なスキルを身につける事を目標にしています。
また、カンファレンスを毎日行っています。



病理診断科

病理診断科で扱う組織件数は、ここ数年 4,000 件前後で推移し、細胞診の検体数は年間 1 万件を越えています。検診センターで行われる一次検査から、当院で行われる精密検査、手術検体まで、一人の患者の診断、治療の全経過を診ることができます。

放射線科

1 日の外来数は 627 人、入院数は 240 人なので院内の画像診断の大部分に関わっていると言えます。優れた放射線科医を目指すなら、当院の初期研修からスタートし、後期研修に移行することをお勧めします。

- 病院 1 日の総読影量 100 件前後
- 健診の 1 日の読影量 20 ~ 50 件

精神科(赤城病院)

統合失調症、うつ病、躁うつ病、器質性精神障害などのスライマリケアに必要な基本的な知識を一般臨床医として身につける。

また、向精神薬の使用法や指示的精神療法を学びます。

皮膚科・泌尿器・耳鼻咽喉科 (群馬大学附属病院)

群馬大学附属病院において皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科の選択ができます。選択期間は 1 か月となります。



群馬中央病院の紹介



社会保険病院として昭和 25 年に開設しましたが、平成 26 年 4 月から独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）に組織移行したことに伴い、病院名が群馬中央病院に変更になりました。24 科を標榜しており、333 床の病床数を有しています。健康管理センターを併設し、附属施設としては介護老人保健施設があります。職員数は医師が 145 名（常勤 61 人、非常勤 84 人）全体では 728 名（常勤 602 人、非常勤 126 人）となっています。

前橋市の中心に位置しており、群馬県庁、前橋市役所とほぼ隣接しています。市中病院ですので、一般的な疾患から専門的な疾患まで幅広い患者さんが来院します。

当院は平成 17 年 4 月から管理型臨床研修指定病院として初期研修が始まりました。本人の希望を考慮し一人ひとりに合わせた指導を受けることができます。指導医だけでなくスタッフの協力体制のもと、基本的なことはもちろん実践度の高い手技まで学ぶことができます。

待遇について

身 分	任期付常勤職員	
勤務時間	月～金曜日、1日7時間45分 週38時間45分	
休 暇	土日祝日、年末年始休暇、規程による年次休暇、病気休暇、夏季休暇、特別休暇	
給 与	給 与	【1年次】452,400円（地域手当含む） 【2年次】487,200円（地域手当含む）
	賞 与	【1年次】年間 780,000円 【2年次】年間 840,000円
各種手当等	宿日直手当 20,000円（回）、通勤手当、扶養手当 住居手当 ～27,000円（月）、研修補助費 50,000円（年）	
加入保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険	
健康管理に関する事項	年1回病院が定める健康診断を受診すること	
研修医室	研修医専用室・研修医当直室あり	
そ の 他	職員食堂（1食450円・500円）院内保育所完備	



研修医室

当院の研修制度について

研修プログラムの特色

当院は、地域医療と高度医療双方を備えた群馬県の一般総合病院であり、次世代を担う医療人の育成をめざすことを目的としたプログラムです。



□ … 14ヶ月が研修医の希望や研修到達度に合わせ、選択が可能です。



自由度が高く将来の専門性に合わせ、ローテート方法は指導医が相談に応じフレキシブルに対応します。

プログラムの概要

必修科目	内科（6ヶ月）、救急部門（3ヶ月）、地域医療（1ヶ月）	
	①内科	内科では、循環器、消化器、神経、呼吸器、糖尿病代謝など、当院が市中の一般総合病院であることから、内科一般の幅広い疾患の研修が可能です。
	②救急部門	救急部門では、各科に搬入される救急患者の初期対応からの一連の流れを研修できるように、各科指導医とともに救急患者の治療にあたります。また、救急時の蘇生・挿管などは1ヶ月間麻酔科で研修し、残りの2ヶ月は外科を中心に、院内各科の頻度の高い救急医療に必要な技術の習得をできる内容となっています。
	③地域医療	地域医療では、病診連携協力医のもとでの在宅医療の研修を主体に行い、地域医療の実践を経験できます。
選択必修科目	外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科のうち2つの診療科については、必ず臨床研修を行います。期間は各科最短1ヶ月の単位で研修が可能です。	
自由選択科目	内科（循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・神経内科）・病理診断科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・放射線科・麻酔科の中から、研修医の希望や将来の専門性、研修到達度に合わせて研修科を選択し、各科最短1ヶ月の単位で研修が可能です。またJCHO東京城東病院で総合内科、群馬大学附属病院にて皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科を選択することも可能です。	

※研修医によって、ローテーションの順序が異なります。（例えば、必修科目から開始される場合や、選択必修科目から研修が開始される場合があります。）必修科目のうち、内科6ヶ月と救急部門2ヶ月は1年次に研修、救急部門の残り1ヶ月と地域医療1ヶ月は2年次に研修を行います。



少数精鋭主義で、一人ひとりに行き届いたきめ細かい指導体制をとっています。

実際に当院のプログラムで研修したローテート表

	1年次 -----> 2年次 ----->																							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修医A (内科)	内科			救急			外科		精神	放射	産科		消化	小児	救急	麻酔	病理	整形	地域					
	1年次 -----> 2年次 ----->																							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修医B (放射線科)	内科			小児	精神	整形	救急	産科	外科	地域	病理	放射			病理	救急								
	1年次 -----> 2年次 ----->																							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修医C (外科)	外科	精神	内科			小児	地域	病理	救急	外科			放射	外科										

アクセス

※群馬ロイヤルホテルの駐車場も利用できます。(午前中のみ)



[交通機関]

- ①両毛線前橋駅より徒歩 20分
- ②両毛線前橋駅下車、群馬バス・群馬中央バス高崎駅行きに乗り「中央病院入口」下車徒歩 1分
- ③関越道前橋インター、渋川新瀉方面出口、国道17号約10分
高崎方面より来院される方は、群馬大橋を渡り終えた群馬大橋東詰か県庁南の信号が、右折できます。

まずは見学



独立行政法人 地域医療機能推進機構
群馬中央病院

〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番地13号
Tel. 027-221-8165 Fax. 027-224-1415
URL : <http://gunma.jcho.go.jp>



facebook
もチェック